

# 海女がつなぐ13人のART

4.8—6.25  
2023

Ama & 13  
Artworks

いとろひでみ

稲垣美侑 ユイギーカンパニー 大野愛子 萩野夕奈 クラッチ・リー 後藤美月 タダオ デニス・リンダ

Yusui NAGASHIMA  
Zoe PORTER  
Yoriko MAENO  
Shibai RANRYOTEI

長嶋祐成  
ポーター・リン

前納依里子 蘭陵亭子梅

海の博物館 gallery



# Ama & 13 Artworks

## 鳥羽市立 海の博物館

Toba Sea-Folk Museum

〒517-0025 三重県鳥羽市浦村町大吉1731-68

開館時間 9:00~17:00 TEL 0599-32-6006

入館料 大人800円、大学生以下400円、未就学児は無料

umihaku.com

## 海女がつなく 13人のART

2023年4月8日(土)~6月25日(日)

いとうひでみ Hidemi ITO

稲垣美侑 Miyuki INAGAKI

ウィギーカンパニー Wiggie Company

大野愛子 Aiko OHNO

荻野夕奈 Yuna OGINO

クラッチ・リー Lee KRUTSCH

後藤美月 Mizuki GOTO

ダダオ Dadao

デニス・リンダ Linda DENNIS

長嶋祐成 Yusei NAGASHIMA

ポーター・ゾイ Zoe PORTER

前納依里子 Yoriko MAENO

蘭陵亭子梅 Shibai RANRYOTEI

抽象画や版画、イラスト、写真やコラージュ、そしてダンスなど異なるアプローチで『海女』を表現した作品を展示します。

志摩半島ではこの50年で、約4000人いた海女さんが、514人と8分の1に減少しました。

この先、10年後20年後の海女の存続が危ぶまれています。高齢化後継者不足はもちろん、海の環境の変化は漁獲物の減少にも大きな影響をあたえ、海女の減る原因にもあげられます。

この現状や海女文化をもっと広く伝えるべく、三重県や海の博物館に縁のあるアーティストたちによる多様な作品を通じて、海女文化に興味を持っていただければと思います。表現し続けるアーティストたちも、海だけでなく環境の変化を敏感に感じ、作品を制作し続けています。自分の息だけで、自然に逆らわず、とりすぎない漁をする稀有な存在である海女、アーティストたちにどのようにうつるのでしょうか？

